

◆産業安全一般「25年度問題」解答案◆

H28. 10. 11  
テクノ・リアライズ  
教育センター

問題 NO.	解答	解説など	問題 NO.	解答	解説など
問題 1	④	スタップ型は、生産部門との連携が課題であり、遊離する恐れがある。	問題 16	①	隙間は 8 mm 以下としなければならない。基発 656 号
問題 2	③	①指針：第 27(1)により正しい。 ③直接、元請事業者に通知するのではなく、当該関係請負人に通知する。	問題 17	⑤	記述の内容は、平衡装置。作業装置用制動装置は、昇降装置、屈折装置およびブーム等を起伏させる装置
問題 3	③	ヒヤリハット報告は、報告者の責任を追究するものではない。	問題 18	②	②追加距離は、連続遮光幅に合わせて大きくする必要がある ③無負荷状態は 20%、負荷状態は 15%とする。 ⑤ホールドツゥランにより保持
問題 4	④	アルミニウム合金は、低温じん性を起こさない。	問題 19	③	③電気絶縁性は不要（ただし、静電靴は、静電気拡散性と導電性について規定している。） ①構造的には衝撃吸収ライナーの有無
問題 5	⑤	信頼度は、並列系システムが最も高くなる。	問題 20	①	気化爆発ではなく、水蒸気爆発
問題 6	②	衝突防止装置ではなく、巻き過ぎ防止装置。	問題 21	②	②燃焼熱の方が大きい物質あり。
問題 7	⑤	作業半径によって変わる。	問題 22	③	①20mA、1 秒間は心室細動発生領域ではない。50mA、1 秒から ②出力側を遮断ではなく、30V 以下にする。 ③原因調査・対策後、試験用ボタンを押し正常かを確認する。 ④身体に装着するものは、絶縁用保護具、⑤その規定はない。
問題 8	② ?	①方向によって影響は相違する。 ②衝撃加速度ではなく、衝突力と継続時間が関係する。 (つまり、重量と衝突速度で決まり加速度ではない。)			
問題 9	④	口、ハ、へ、チが人間に当てはまる。	問題 23	⑤	引火点は、温度で表す。
問題 10	①	①視覚が関係せず、聴覚や触覚によるものもある。 ⑤体積の小さいものを重く感じるのは心理的現象（シャルパンティエ効果）、逆に大きい箱などが威圧感によりを重く感じてしまうのが錯覚である。	問題 24	④	3つのブロックから2つの基本事象の防止効果が等しくなるものは、DとEのみ
			問題 25	③	交通労働災害が7%、荷役作業時における災害が7割である。
問題 11	④	直接見ることのできる事象に限らず、異音などの検出も必要。	問題 26	②	②5,370人(H16)から5,654人(H23)であり、大きく増加していない ④H14:96,795人で5.9% H23:129,499人で6.2%
問題 12	③	特別教育も適している。 ④は△（人数が過大）	問題 27	②	店社と現場をそれぞれ1つの単位とせず、統一でよい。
問題 13	⑤	管理監督者が自らチェックすることも必要である。	問題 28	②	計画・設計段階、工学的対策、管理的対策、個人用保護具の順
問題 14	④	$Z = bh^2/6$ 、 $I = bh^3/12$ $Z_A = a^3/3$ 、 $Z_B = a^3/6$ 従って、 $\sigma_A/\sigma_B = 1/2$	問題 29	④	当該災害の重篤度ではなく、予想される最大重篤度とする。
問題 15	③	③最大停止時間が規定の時間内であるかを測定する。 また、一行程運転を行い、角度が10度以内を確認する。	問題 30	④	機械の内部等に警報装置を設置することは、付加保護方策ではなく、使用上の情報の提供。

※ 問題 14 の解答案を変更することを忘れていました。(H28.10.11)